



福島中だより

令和7年度
福島中学校通信
1月30日(金)
第10号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)

【生徒会スローガン】日笑(にっしょう)

「やるべきことを最後までやりきる」

福島町立福島中学校長 助川 剛



年が明け令和8年となり1か月が過ぎようとしています。災害、大きな事故がなく、後期後半が始まって安堵しています。

さて、冬休み前に「やるべきこと」を生徒の皆さんに話しました。3年生は高校受験のための学習。卒業後のための学習。1,2年生は冬休みの課題がやるべきことであると話をしました。

冬休み後の集会で、「やるべきこと」ができたかを聞きました。多くの生徒はできたようです。しかし、残念なことにできなかった生徒もいたようです。

その様子から、後期後半は「やるべきことを最後までやりきる」ことを生徒の皆さんに頑張ってもらいたいと話しました。最後までやりきれば、自分はできた、次もできるという自信が付き気持ちは前向きになります。反対にやりきることができなければ、自分はできなかった、中途半端なことしかできなかった、という気持ちを抱え、自分に自信を持つことができません。

投げ出したくなる自分に負けず、粘り強く自分のやるべき学習、行事など教育活動に最後まで取り組んでほしいです。誰のためでもない、自分が自信をもって新しい環境、新しい年度で生きていくためです。卒業証書授与式で全校が「有終の美」を飾り新年度を迎えられるよう頑張ってください。

令和7年度はあと2か月となりました。保護者、地域の皆様におかれましては、残りの教育活動へも旧年中と変わらぬ、ご理解ご協力をお願いします。

生徒の活躍のようすは、福中ホームページ内ブログでご覧いただけます。

